

株式会社 滋 賀 食 肉 市 場

平成30年度事業計画

株式会社 滋賀食肉市場

1 基本方針

滋賀県の食肉の生産および流通の拠点である滋賀食肉センターにおいて、HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を徹底したと畜解体業務や食肉処理等の業務を行い、安全な食肉を安定的に供給する。

また、食肉の公正明朗な規格取引を推進することにより適正な卸売価格の形成に努め、価格の安定に資する。

2 事業計画

衛生品質管理技術の向上と業務運営体制の充実を図るとともに、引き続き経営の健全化に努める。

(1) と畜解体業務

と畜場法、関連法令等を遵守し、衛生的な処理と管理に努める。

平成30年度計画

牛と畜頭数 8,700頭（うち輸出用 600頭）

豚と畜頭数 3,000頭

(2) 枝肉の受託販売

安定した牛枝肉の上場頭数の確保と買い受け人の増加に努めることにより、適正な価格形成を図り、信用の向上を目指す。

平成30年度計画

牛せり上場頭数 2,600頭

(3) 枝肉の冷蔵保管

温度管理を徹底し、品質の維持に努める。

(4) 部分肉の受託加工および冷蔵保管

枝肉から部分肉まで外気に触れることなく一貫して処理し、真空包装、冷蔵保管を行うことにより品質の維持を図り、信頼性の確保と増頭に努める。

平成30年度計画

部分肉加工頭数 900頭

(5) 経営改善に関する取組

センター開設以来続いていた単年度赤字が、平成27年度決算から黒字に転じたが、依然として債務超過の状況は継続している。「滋賀食肉センター経営研究会報告」（平成28年9月）を踏まえ、新たな経営改善計画を策定し、安定的、持続的な経営を行うため、引き続き経費の削減に努めるとともに、企業ガバナンスの強化、HACCP方式ならびにISO22000国際規格による衛生管理体制の推進、と畜技術向上のための研修の実施など、さらなる経営改善を進める。

収 支 見 込

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 売 上 高				
受託販売手数料	251,000	228,000		23,000
と畜解体料	76,000	82,000	△	6,000
受取冷蔵保管料	14,000	16,000	△	2,000
自家割手数料	18,000	20,000	△	2,000
加工手数料	47,000	35,000		12,000
売上高計 (A)	406,000	381,000		25,000
2 販売費および一般管理費				
施設使用料	61,000	61,000		-
出荷奨励金	98,000	86,000		12,000
人件費	160,000	154,000		6,000
その他管理費	82,000	77,000		5,000
販売費および一般管理費計 (B)	401,000	378,000		23,000
3 営業利益(C)=(A)-(B)	5,000	3,000		2,000
4 営業外収益				
受取補助金等	15,000	16,000	△	1,000
雑収入	6,000	7,000	△	1,000
営業外収益計 (D)	21,000	23,000	△	2,000
5 営業外費用				
支払利息	2,000	2,000		-
営業外費用計 (E)	2,000	2,000		-
6 経常利益	24,000	24,000		-
(F)=(C)+(D)-(E)				
7 税引前当期純利益 (G)	24,000	24,000		-
8 法人税等 (H)	186	186		-
9 当期純利益(I)=(G)-(H)	23,814	23,814		-

平成 29 年度 事業報告

株式会社 滋賀食肉市場

1 事業概要

滋賀県の食肉の生産および流通の拠点である滋賀食肉センターにおいて、HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を徹底したと畜解体業務や食肉処理等の業務を行い、安全な食肉を安定的に供給した。

また、食肉の公正明朗な規格取引を推進することにより適正な卸売価格の形成に努め、価格の安定を図った。

2 事業実績

衛生品質管理技術の向上と業務運営体制の充実を図るとともに、と畜解体技術の向上を図る対策に取り組むなど、業務改善や経営の健全化に努めた。

(1) と畜解体業務

と畜場法、関連法令等を遵守し、衛生的な処理と管理に努めた。

	牛と畜頭数（うち輸出用）	豚と畜頭数
計画	8,450頭（450頭）	6,000頭
実績	8,059頭（580頭）	4,517頭

(2) 枝肉の受託販売

安定した牛枝肉の上場頭数の確保と買い受け人の増加に努め、適正な価格形成を図った。

	牛せり上場頭数
計画	2,600頭
実績	2,507頭

(3) 枝肉の冷蔵保管

温度管理を徹底し、品質の維持に努めた。

(4) 部分肉の受託加工および冷蔵保管

枝肉から部分肉まで外気に触れることなく一貫して処理し、真空包装、冷蔵保管を行うことにより品質の維持を図り、信頼性の高い製品づくりに努めた。

	牛部分肉加工頭数
計画	680.0頭
実績	954.0頭

(5) 経営改善に係る取組

と畜頭数は、牛については、計画頭数には及ばなかったものの、前年度実績を上回った。一方、豚については、前年度実績を大きく下回る事となった。しかしながら、枝肉価格が比較的高値を維持したことや、部分肉の加工頭数が輸出向けを中心に大きく伸びたことによる収益増ならびに施設使用料等の経費削減により、前年度に引き続き、単年度黒字を計上した。

また、HACCP方式による衛生管理をさらに強化するため、食品衛生管理基準を定めた国際規格「ISO 22000」を認証取得し、他のと畜場との差別化を図った。

損 益 計 算 書

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	金 額	
売 上 高		
受託販売手数料	246,639,471	
買付品売上高	69,981,798	
と畜解体料	77,872,614	
受取冷蔵保管料	14,415,709	
自家割手数料	17,819,655	
加工手数料	46,829,214	473,558,461
売 上 原 価		
買付品売上原価		69,981,798
売上総利益		403,576,663
販売費および一般管理費		
施設使用料	53,173,530	
出荷奨励金	91,851,679	
人件費	156,901,290	
その他管理費	84,487,933	386,414,432
営業利益		17,162,231
営業外収益		
受取利息	1,901	
受取配当金	2,000	
受取補助金等	14,636,754	
雑収入	6,788,854	21,429,509
営業外費用		
支払利息	1,900,575	
雑損失	622	1,901,197
経常利益		36,690,543
特別損失		
固定資産除却損		3,449
税引前当期純利益		36,687,094
法人税等		185,500
当期純利益		36,501,594

貸 借 対 照 表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	428,703,584	流 動 負 債	663,835,309
現 金 預 金	188,103,776	受 託 販 売 未 払 金	257,756,126
売 掛 金	208,622,464	短 期 借 入 金	280,000,000
未 収 入 金	22,321,287	施 設 未 払 費	95,634,693
未 収 収 益	9,202,389	未 払 費 用	17,607,330
立 替 金	471,705	未 払 法 人 税 等	185,500
仮 払 金	240,320	預 り 金	12,651,660
前 払 費 用	241,643	固 定 負 債	135,978,313
貸 倒 引 当 金	△ 500,000	長 期 借 入 金	67,648,313
固 定 資 産	11,369,610	受 取 保 証 金	68,330,000
有 形 固 定 資 産	1,191,978	負 債 合 計	799,813,622
建 物 附 属 設 備	454,172	(純 資 産 の 部)	
構 築 物	737,802	資 本 金	44,070,000
車 両 運 搬 具	1	資 本 金	44,070,000
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	3	利 益 剰 余 金	△ 403,810,428
投 資 そ の 他 資 産	10,177,632	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 403,810,428
出 資 金	60,000	(うち 当 期 純 利 益)	(36,501,594)
長 期 前 払 費 用	1,143,800	純 資 産 合 計	△ 359,740,428
開 設 者 預 託 保 証 金	8,973,832	負 債 ・ 純 資 産 合 計	440,073,194
資 産 合 計	440,073,194		

